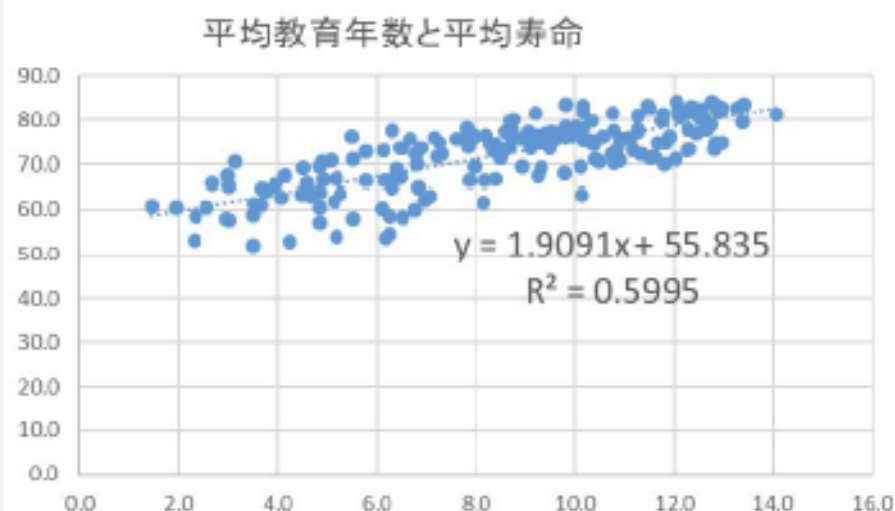


## 平均寿命を従属変数、平均教育年数を独立変数とした 散布図と回帰式(国連開発計画、2017年データ)



$$\text{平均寿命} = 1.9091 \times \text{平均教育年数} + 55.835$$

- ・ 回帰式の意味：平均教育年数が1年延びると、平均寿命は1.9091歳延びる
- ・ 説明率 $R^2=0.5995$   
(平均教育年数だけで平均寿命のデータの散らばりを59.95%説明できる)
- ・ 相関係数(別ページ参照) は $r=0.774$

**では、なぜ、このような関係が  
みられるのでしょうか？**